

科目	学年・小学科	単位数
経済活動と法	3年選択・商業科・会計ビジネス科	2
教科書	東京法令出版「経済活動と法」	
副教材	経済活動と法問ワークブック（東京法令出版）	

1. 学習目標

ビジネスに必要な法規に関する基礎的な知識を習得させ、経済社会における法の意義や役割について理解させるとともに、経済事象を法的に考え、適切に判断して行動する能力と態度を育てる。

2. 学習方法

- ・講義形式の授業
- ・インターネットの利用や新聞記事を使った事例学習
- ・グループでの話し合いや発表による言語活動
- ・企業の経済活動について具体的な事例を取り上げ、課題を発見するとともに、法的に思考判断する
- ・自己評価による学びの確認

3. 評価の観点と趣旨

① 関心・意欲・態度	・円滑なビジネスは法によって支えられていることに気づく。 ・法律関係で成り立つ日常生活について関心を持つ。 ・法の知識、法的思考が生活上必須であることに関心を持ち、意欲的に学習しよう
② 思考・判断・表現	・ある事象の解釈について、また条文についてなどの生成過程や立法の趣旨を論理的に思考し、どう判断し捉えることができているか。
③ 技能	・新聞記事などを通してそれらのことが「法化社会」でどのように扱われ、条文と関連するのかが具体的にとらえることができているか。
④ 知識・理解	・経済活動や市民生活のあるところ法あり、と実感し理解することが知識の裏付けをもってなしているか。
⑤	

科目名	学年・小学科	単位数
経済活動と法	3学年・商業科・会計ビジネス科	2

学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点					単元の評価規準	評価方法
			①	②	③	④	⑤		
前期中間	第1章 法の意義と役割	1. 社会生活と法						○経済活動の円滑な流れは法によって行われていることを理解させる。 ○法とはどんなものか、その本質を明らかにし、法の体系を理解させる。 ○法の分類、効力、適用と解釈など法を学ぶための基本的な事柄を理解させる。	・授業態度 ・グループ学習 ・ワークシート ・提出物 ・資料検索 ・まとめ ・自己評価 ・単元テスト ・プレゼン発表 ・定期考査
		2. 法の分類	○	○			○		
	3. 法の存在形式								
第2章 権利・義務と財産権	1権利・義務とその主体	○	○			○	○権利・義務の意義、関係そして主体について学習し理解させる。 ○自然人について権利能力・行為能力という用語の理解を含め概観し、制限行為能力者制度への理解をすすめる。 ○物権の対象としての物の概念と範囲を理解させる。 ○財産権と相隣関係について理解させる。○知的財産権について理解を深める。		
	2物と財産権	○	○			○			
	3知的財産権	○	○			○			
前期末	第3章 財産権と契約そしてその保護	1財産権と契約	○	○			○	○財産権について関心を持ち、理解をすすめる。 ○契約と意思表示について関心を持ち、理解をすすめる。 ○売買契約の法律的性質、意味について理解させ、物権の公示の原則や担保責任、同時履行の抗弁権などについても学ぶ。 ○消費貸借・賃貸借の一般的理解を目指す。使用貸借についても学習し、理解を図る。 ○時効について趣旨や内容について理解させる。 ○物権・債権の保護について知識を得、理解させる。	
		2物の売買	○	○			○		
		3物の貸借	○	○			○		
		4契約によらない財産権の変動	○	○			○		
		5財産権の保護	○	○			○		
後期中間	第4章 企業活動に関する法	1企業活動の主体	○	○			○	○商人と商行為に関して理解させる。 ○営業活動の自由と制限に関して理解させる。 ○営利社団法人としての株式会社の法的意義を学習し、これからの社会における株式会社の役割や正しい方向性について考察し、発表させる。	
		2営業活動の自由と制限	○	○			○		
		3株式会社と法	○	○	○	○			
第5章 取引に関する法	1手形・小切手と法	○	○			○	○手形・小切手について法律上の要件と制度について理解させる。 ○金融商品取引の現状と課題について理解させる。		
	2金融取引	○	○			○			
学年末	第6章 企業の責任と法	1法令遵守	○	○	○	○		○社会が要求する企業の法令遵守に関する考え方について理解し、企業統治や内部統制、不正行為防止の重要性について考えさせる。 ○消費者の生活を守る法について理解する。 ○労働の提供に関する民法上の諸規定について理解させる。 ○紛争の予防制度としての公証制度を理解させる。 ○紛争の解決方法として、和解・調停・仲裁及び民事訴訟のあることを学習し、それぞれの特色を理解させる。	
		2消費者と法	○	○	○	○			
		3労働と法	○	○	○	○			
		4紛争の予防と解決	○	○	○	○			
	総合演習		○	○	○	○	○	○これまで学習してきた内容を適切に組み合わせ、意欲的に課題発見・解決に取り組む。	